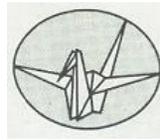




# 被団協



● 発行所  
北海道被爆者協会  
札幌市白石区平和通  
17 丁目北 6-7

北海道版 北海道ノーマア・ヒバクシャ会館内  
TEL/FAX 011-866-9545

北海道被爆者協会 ホームページ <http://h-nomore-hibakusha.org/> メール dohidankyo@poppy.ocn.ne.jp

## 核兵器禁止条約発効 時代の大きな転換点に 新しい動き芽生える

### 25校で語り部 札幌市

核兵器禁止条約が発効して3か月余り、コロナの勢いに押されて？核兵器をめぐる動きはちよつと一休み。そんな中、身近なところで新しい動きがいろいろ出てきました。

「平和都市宣言」を出している札幌市。いま改めてその宣言を読んでみると実に新鮮です。SDGs(国連で採択された持続可能な開発目標)に核兵器廃絶はありませんが、宣言は「戦争こそ地球環境を破壊する」とズバリ。

そして憲法の平和主義に基づいて核兵器をなくしましょう、と。これはすごいですね。

札幌市はそのため様々な事業を組んでいます。市内各校に被爆者を派遣し証言を聞かせるということもそのひとつ。例年希望が10校前後、それが今年は何と25校に増えました。200名を超える児童生徒に語り部を入れてその日を待っています。

(写真は昨年の「平和のメッセージ」展の一枚。光陽中学生のもの。地下歩行空間)



### 札幌市平和都市宣言

戦争のない平和な世界を築くことは、人類共通の願いです。この切なる願いにもかかわらず、平和に対する脅威、特に核兵器の脅威から、人類は今なお自由ではありません。私たちは、戦争こそ地球環境を破壊する最大のものであり、平和にまよる市民福祉はないとの考えのもとに、人類がひとしく平和のうちに暮らせる世界が実現されることを願っています。

私たち札幌市民は、日本国憲法がかかげる平和の理念に基づき、非核三原則を守ることを誓い、信義と公正を重んずる全世界の市民と相携えて世界平和の実現を望みつつ、ここに札幌市が核兵器廃絶平和都市であることを宣言します。

平成4年(1992年)3月30日

### 道民教・春の学習会 ヒバクシャ会館で

道民教(民間教育研究団体協議会)の春の学習会午前の部が4月24日、



ヒバクシャ会館で行われました。教育大札幌の学生13名と先生方は、展示品の説明や長崎で被爆した宮本須美子さんの話を熱心に聞きました。午後は場所を移し、「感染症をどう教えるか」など授業づくりをめぐる交流、それぞれの様子をZoomで全道の会員に配信されました。教員・学生の中にも被爆者と核兵器の問題への関心が高まっているようです。

### 感想ノートより

「この会館の記録は、もつと、日本、世界に発信していかなければならないことだと強く強く思います。」

「最終戦争を防止するためにも、広島や長崎の原爆と被爆者に関する資料が、これからも役立っていくことを心から願っております。」

### コロナの拡大に伴って

- 5/10〜5/31 会館閉館、事務所は午前中のみ
- 総会等 今年の被爆者協会総会は文書による決済へ。二世プラスの会は「会員の集い」を秋に延期
- 5/15 札幌の平和行進は宣伝力のみ。被爆者の訴えはナシ。
- 被爆の証言と原爆展(7/15・16)、追悼会(8/6)は予定通り。新たに「絵本の原画と原爆の絵展」計画中。